

2022年12月11日 アドベント第3聖日

インターネットの礼拝映像配信は9時より。11時からは録画を視聴できます。

後 奏 感謝 祈祷	祝 報 告 奏 感謝 祈祷	頌 栄 金 聖 歌 3 7 6	献 美 み か む り を も な れ は 捨 て て (1、3、4)	賛 美 み か む り を も な れ は 捨 て て (1、3、4)	説 教 マ リ ア の 賛 歌 1 章 46 ～ 55 節 田 中 英 師	聖 書 朗 読 ル カ の 福 音 書 1 章 46 ～ 55 節	使 徒 信 条 ル カ の 福 音 書	礼 拝 祈 禱 詩 篇 1 4 6 篇 5 ～ 10 節	交 主 の 祈 り 詩 篇 1 4 6 篇 5 ～ 10 節	賛 美 静 か に 眠 れ る (1、3、4)	賛 美 静 か に 眠 れ る (1、3、4)	招 前 奏 「天よ、喜びの声をあげよ。地よ、小躍りせよ。山々よ、歓喜の声をあげよ。主がご自分の民を慰め、その苦しむ者をあわれまれるからだ。」アーメン	12 月 11 日 ア ド ベ ン ト 第 3 聖 日
--------------------	------------------------------	--------------------------------------	---	---	--	--	--	---	--	---	---	---	---

■静かに眠れる（1， 3， 4 節）（聖歌 72）

- ①静かに眠れる 小さき村 ベツレヘムよ今 なが馬屋に
起これることを なれは知らず み民の望みし 主の みあれぞ
- ③くすしき たまもの 神の愛は 静かに地にふる つゆのごとし
今なおイエスは 宿としたもう いとも へりくだる なが心を
- ④神の み子イエスよ いざ くだりて けがれし心を なが御座とし
とこしえまでも 座したまえや インマヌエルの主よ わが み神よ

■「大いなる方に」（1回）

大いなる方に 感謝ささげます 御子キリストの 愛のゆえに
聖なる方に 感謝ささげます 御子キリストの 愛のゆえに
今 弱い者よ 叫べ 勇士だと 勝利の主が ともにおられる
今 貧しい者よ 叫べ富んでいると 恵みの主が ともにおられる
感謝します

■主の祈り 天にましますわれらの父よ。ねがわくは 御名をあがめさせたまえ。御国をきたらせたまえ。御心の天になるごとく、地にもなさせたまえ。われらの日用の糧を今日もあたえたまえ。われらに罪をおかすものを われらが 赦すごとく、われらの罪をも赦したまえ。われらを ころみにあわせず 悪より救いいだしたまえ。国と力と栄えとは かぎりなく なんじのものなればなり。アーメン

■交読 詩篇 146 篇 5 節～10 節

- 5 幸いなことよ ヤコブの神を助けとし
その神 主に望みを置く人。
- 6 主は 天と地と海
またそれらの中のすべてのものを造られた方。
とこしえまでも真実を守り
- 7 虐（しいた）げられている者のためにさばきを行い
飢えている者にパンを与える方。
主は捕らわれ人を解放される。
- 8 主は目の見えない者たちの目を開け
主はかがんでいる者たちを起こされる。
主は正しい者たちを愛し
- 9 主は寄留者（きりゅうしゃ）を守り みなしごとやもめを支えられる。
しかし悪（あ）しき者の道は 主が曲げられる。
- 10 主はとこしえに続（す）べ治められる。
シオンよ あなたの神は 代々に続（す）べ治められる。
ハレルヤ。

■使徒信条 われは天地のつくりぬし、全能の父なる神を信ず。われはそのひとりご、われらの主、イエス・キリストを信ず。主は聖霊によりてやどり、おとめマリヤよりうまれ、ポンテオ・ピラトのもとにくるしみをうけ、十字架につけられ、死にてほうむられ、よみにくだり、三日目に死人のうちよりよみがえり、天にのぼり、全能の父なる神の右に座したまえり。かしこよりきたりて 生けるものと死にたるものとを さばきたまわん。われは聖霊を信ず。聖なる公同の教会、聖徒のまじわり、罪のゆるし、からだのよみがえり、とこしえのいのちを信ず。アーメン

■聖書朗読 ルカの福音書 1章 46～55節（本紙掲載は26節～55節）

26 さて、その六か月目に、御使いガブリエルが神から遣わされて、ガラヤのナザレという町の一人の処女のところに来た。

27 この処女は、ダビデの家系のヨセフという人のいいなずけで、名をマリアといった。

28 御使いは入って来ると、マリアに言った。「おめでとう、恵まれた方。主があなたとともにおられます。」

29 しかし、マリアはこのことばにひどく戸惑って、これはいったい何のあいさつかと考え込んだ。

30 すると、御使いは彼女に言った。「恐れることはありません、マリア。あなたは神から恵みを受けたのです。

31 見なさい。あなたは身ごもって、男の子を産みます。その名をイエスとつけなさい。

32 その子は大いなる者となり、いと高き方の子と呼ばれます。また神である主は、彼にその父ダビデの王位をお与えになります。

33 彼はとこしえにヤコブの家を治め、その支配に終わりはありません。」

34 マリアは御使いに言った。「どうしてそのようなことが起こるのでしょうか。私は男の人を知りませんのに。」

35 御使いは彼女に答えた。「聖霊があなたの上に臨み、いと高き方の力があなたをおおいます。それゆえ、生まれる子は聖なる者、神の子と呼ばれます。

36 見なさい。あなたの親類のエリサベツ、あの人もあの年になって男の子を宿しています。不妊と言われていた人なのに、今はもう六か月です。

37 神にとって不可能なことは何もありません。」

38 マリアは言った。「ご覧ください。私は主のはしためです。どうぞ、あなたのおことばどおり、この身になりますように。」すると、御使いは彼女から去って行った。

39 それから、マリアは立って、山地にあるユダの町に急いで行った。

40 そしてザカリヤの家に行って、エリサベツにあいさつした。

41 エリサベツがマリアのあいさつを聞いたとき、子が胎内で躍り、エリサベツは聖霊に満たされた。

42 そして大声で叫んだ。「あなたは女の中で最も祝福された方。あなたの胎の実も祝福されています。

43 私の主の母が私のところに来られるとは、どうしたことでしょう。

44 あなたのあいさつの声が私の耳に入った、ちょうどそのとき、私の胎内で子どもが喜んで躍りました。

45 主によって語られたことは必ず実現すると信じた人は、幸いです。」

- 46 マリアは言った。「私のたましいは主をあがめ、
47 私の霊は私の救い主である神をたたえます。
48 この卑しいはしために目を留めてくださったからです。ご覧ください。
今から後、どの時代の人々も私を幸いな者と呼ぶでしょう。
49 力ある方が、私に大きなことをしてくださったからです。その御名は
聖なるもの、
50 主のあわれみは、代々にわたって主を恐れる者に及びます。
51 主はその御腕で力強いわざを行い、心の思いの高ぶる者を追い散ら
れました。
52 権力のある者を王位から引き降ろし、低い者を高く引き上げられました。
53 飢えた者を良いもので満ち足らせ、富む者を何も持たせずに追い返さ
れました。
54 主はあわれみを忘れずに、そのしもベイスラエルを助けてくださいま
した。
55 私たちの父祖たちに語られたとおり、アブラハムとその子孫に対する
あわれみをいつまでも忘れずに。」

■みかむりをもなれは捨てて（1， 3， 4 節）（聖歌 8 4）

- ①みかむりをも なれはすてて 世に くだりまししに
ただの ひとま さえもあけて むこうる 家なし
君よ この心に きたり住みたまえ
- ③人をときて 自由にする この生けることばを
人はあざけり 苦しめて 木のえにさらしぬ
君よ この心に きたり住みたまえ
- ④あまつくにの かどはひらき 迎えらるるときに
のらせたまえ 「ここになれが すもう 家あり」と
さらばこの心は よろこびにあふれん

■頌栄 聖歌 3 7 6 「父 御子 御霊の」

父・御子・みたまの おおみかみに とこしえかわらず
御栄えあれ 御栄えあれ アーメン